

## 障害福祉計画（第 6 期）の取組状況等について

## 【 1 】 成果目標

## 〔 1 〕 福祉施設の入所者の地域生活への移行

## ■福祉施設の入所者の地域移行者数の目標値と実績

令和元年度末 施設入所者数	令和 5 年度末 地域移行者数 目標値 A	令和 3 年度末まで の地域移行者数 B	B - A	達成率 B / A
128人	13人 移行率 9%以上	5人 移行率 4%	▲ 8人	38.46 %

\*移行率：令和 5 年度末の国・大阪府の目標 令和元年度末施設入所者数の 6 %以上

## ■施設入所者数の削減数の目標値と実績

令和元年度末 施設入所者数 A	令和 5 年度末 施設入所者数の削減数 目標値 C	令和 3 年度末 施設入所者数 B	削減者数 A - B = D 削減率 D / A	達成率 D / C
128人	削減数 3人 削減率 1.6%以上 施設入所者数 125人	131人	削減数 ▲ 3人 削減率 ▲ 2 %	▲ 100 %

\*削減率：令和 5 年度末の国・大阪府の目標 令和元年度末施設入所者数の 1.6 %以上

## 【評価】

令和 3 年度において、入所施設から 2 名が地域移行を果たしましたが、新規入所者もいるため、施設入所者数そのものの削減は進んでいません。

地域における受け皿としてのサービス等の資源整備だけでなく、入所者本人や家族に対しての動機づけについても課題となっています。引き続き障害者地域自立支援協議会（地域移行・地域定着部会）の取組み等を通じ、施設入所者への計画相談支援導入を進め、地域移行の推進を継続するとともに、施設等への啓発や、入所者と地域生活を送る障害者との交流の機会を作るなどの取組みを行う必要があります。

〔2〕精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

①精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数の目標値と実績

令和5年度末 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数
316日以上（大阪府全体）

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 316日以上

【評価】

公表される数値が大阪府全体の数値となるため、市町村別の数値が把握できない項目になります。  
 また、現時点で平成30年度（※）までが公表されるにとどまっており、令和3年度実績は不明であるため、直近年度における数値で評価が行えない状況ですが、平成30年度の実績は目標値を上回っています。この状況が継続するよう、引き続き関係機関と連携を行っていきます。

※平成30年度実績 331日（大阪府全体）

②精神病床における1年以上の長期入院患者数の目標値と実績

令和5年6月末 精神病床における1年以上の長期入院患者数	令和3年6月末 実績
318人	352人

\*令和5年6月末の大阪府の目標 8,688人

【評価】

令和3年6月末時点では、令和5年6月末の目標値は未達成となっております。  
 目標達成に向け、障害者地域自立支援協議会（地域移行・地域定着部会）の取組み等を通じ、医療機関や大阪府、保健所などと連携を図りながら長期入院者の地域移行を推進する必要があります。

③精神病床における早期退院率（入院後3か月、6か月、1年各時点）の目標値と実績

令和5年度 精神病床における早期退院率 （入院後3か月、6か月、1年 各時点）
3か月時点69%以上、6か月時点86%以上、1年時点92%以上（大阪府全体）

\*令和5年度の国・大阪府の目標 入院後3か月時点69%以上、6か月時点86%以上、1年時点92%以上

【評価】

公表される数値が大阪府全体の数値となるため、市町村別の数値が把握できない項目になります。  
 また、現時点で平成30年度（※）までが公表されるにとどまっており、令和3年度実績は不明であるため、直近年度における数値で評価が行えない状況ですが、平成30年度の実績は目標値を下回っています。状況が改善するよう、引き続き関係機関と連携を行っていきます。

※平成30年度実績 3か月時点65.3%、6か月時点82.3%、1年時点89.3%（大阪府全体）

### 〔3〕地域生活支援拠点等が有する機能の充実

#### ■地域生活支援拠点等が有する機能の充実の目標値と実績

令和5年度末 地域生活支援拠点等が有する機能の充実
令和5年度（2023年度）末までの間、地域生活支援拠点等の機能について、 年1回以上運用状況を検証・検討する。

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 令和5年度末までの間、市域に1つ以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、年1回以上運用状況を検証・検討

#### 【評価】

地域生活支援拠点等の機能の運用状況等を検証・検討する場として、障害者地域自立支援協議会に「地域生活支援拠点プロジェクトチーム」を立ち上げるについて検討を行いました。

第2回障害者地域自立支援協議会全体会にて、プロジェクトチームの立ち上げについて承認を得たため、令和4年度よりプロジェクトチームを立ち上げました。

今後、地域自立支援協議会にて地域生活支援拠点等の機能について検証・検討を行っていきます。

### 〔4〕福祉施設から一般就労への移行等

#### ①福祉施設から一般就労への移行の目標値と実績

令和元年度 一般就労への移行者数	令和5年度 一般就労への移行者数 目標値 A		令和3年度 一般就労への移行者数 B	達成率 B/A
全体 50人 ※自立訓練2人含む	全体 64人	令和元年度対比 全体 1.27倍以上	全体 36人	
就労移行支援 34人	就労移行支援 46人	就労移行支援 1.30倍以上	就労移行支援 23人	50.00 %
就労継続支援A型 10人	就労継続支援A型 13人	就労継続支援A型 1.26倍以上	就労継続支援A型 9人	69.23 %
就労継続支援B型 4人	就労継続支援B型 5人	就労継続支援B型 1.23倍以上	就労継続支援B型 4人	80.00 %

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 令和元年度の一般就労への移行実績の全体1.27倍以上、就労移行支援1.30倍以上、就労継続支援A型1.26倍以上、就労継続支援B型1.23倍以上

#### 【評価】

現在、大阪府による集計結果の報告待ちであるため、第2回分科会にて報告します。

※数値については、市内事業所における茨木市のサービス支給決定者の移行者数を参考に記載

## ②就労定着支援事業に関する目標

### ■就労定着支援事業の利用者の割合の目標値と実績

令和5年度 就労定着支援事業の利用者の割合	令和3年度 実績
令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち70%以上	未集計

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち7割以上

#### 【評価】

現在、大阪府による集計結果の報告待ちであるため、第2回分科会にて報告します。

### ■就労定着支援事業所の就労定着率の目標値と実績

令和5年度 就労定着支援事業所の就労定着率	令和3年度 実績
就労定着率が80%以上の事業所が全体の70%以上	就労定着率が80%以上の事業所全体の80%

\*令和5年度末の大阪府の目標 令和5年度における就労定着率が8割以上の事業所が全体の7割以上

#### 【評価】

市内就労定着支援事業所5事業所のうち4事業所（全体の80%）が就労定着率80%以上と令和3年度については、目標値を達成していますが、更なる向上のため関係機関と情報共有等を行い、状況に注視していく必要があります。

## ③就労継続支援B型事業所における平均月額工賃の目標値と実績

令和5年度 平均月額工賃 目標値 A	令和3年度 平均月額工賃 B	達成率 B/A	過去3か年（R1～R3）の 平均月額工賃（参考）
14,490円	12,332円	85.11%	12,960円

\*令和5年度の大阪府の目標 個々の就労継続支援B型事業所において設定した目標工賃を踏まえた額

#### 【評価】

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響等による販売機会や仕事の依頼の減少等から、平均月額工賃額は伸びず、昨年度の実績を727円下回る結果となりました。

引き続き、関係機関との情報共有や多機関との連携などを行い、販路拡大や民間受注の拡大等に向けた検討を行っていく必要があります。

※令和3年度平均月額工賃については、令和4年4月に市が独自に実施した工賃実績調査の数値を基にしています。別途、厚生労働省からの依頼に基づく、工賃実績報告をもって本市の令和3年度平均月額工賃の確定とします。

[5] 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

■障害福祉サービス等の質を向上させるための取組の目標値と実績

令和5年度  
障害福祉サービス等の質を向上させるための取組

令和5年度末までの間、研修を充実し、障害福祉サービス等に係る審査支払、指導監査に係る情報の共有体制を構築する。

【評価】

障害福祉サービス等に係る審査支払について、毎月の請求データの確認時に事業所等に対し、エラー項目に関して共有を行うとともに修正を促しました。今後も、引き続き適切に請求がなされるよう取り組んでいく必要があります。

また、指導監査に係る情報の共有体制の構築については、昨年度北摂七市三町障害福祉担当課長会議（書面開催）で各市における事業所に対する処分取り消し等の事例共有を行いました。

【2】活動指標

〔1〕自立支援給付

1 訪問系サービス

(単位：上段は人、下段は時間)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	居宅介護	166	173	104%	174	-	-	183	-	-
		5,161	5,706	111%	5,419	-	-	5,690	-	-
	重度訪問介護	23	21	91%	24	-	-	26	-	-
		8,567	7,660	89%	8,995	-	-	9,445	-	-
	同行援護	71	64	90%	72	-	-	73	-	-
		1,826	1,629	89%	1,857	-	-	1,889	-	-
重度障害者 等包括支援	0	0	-	0	-	-	0	-	-	
	0	0	-	0	-	-	0	-	-	
知的障害者	居宅介護	90	98	109%	94	-	-	99	-	-
		973	969	99%	1,019	-	-	1,067	-	-
	重度訪問介護	5	3	60%	5	-	-	6	-	-
		1,237	996	81%	1,423	-	-	1,637	-	-
	行動援護	2	3	150%	2	-	-	3	-	-
		106	94	89%	116	-	-	128	-	-
重度障害者 等包括支援	1	0	0%	1	-	-	1	-	-	
	75	0	0%	75	-	-	75	-	-	
精神障害者	居宅介護	213	230	108%	222	-	-	231	-	-
		2,618	2,843	109%	2,749	-	-	2,886	-	-
	重度訪問介護	1	0	0%	1	-	-	1	-	-
		68	0	0%	72	-	-	75	-	-
	行動援護	0	0	-	0	-	-	0	-	-
		0	0	-	0	-	-	0	-	-
重度障害者 等包括支援	0	0	-	0	-	-	0	-	-	
	0	0	-	0	-	-	0	-	-	
障害児	居宅介護	25	28	112%	26	-	-	26	-	-
		341	391	115%	352	-	-	363	-	-
	同行援護	1	1	100%	1	-	-	1	-	-
		24	30	125%	24	-	-	24	-	-
	行動援護	0	0	-	0	-	-	0	-	-
		0	0	-	0	-	-	0	-	-
重度障害者 等包括支援	0	0	-	0	-	-	0	-	-	
	0	0	-	0	-	-	0	-	-	

\*数値、上段は月間の平均利用人員、下段は「月間の平均利用人員」×「1人当たりの月平均利用時間」

【評価】

居宅介護の令和3年度の利用者数及び1人当たりの月平均時間の実績は見込み量を上回っています。重度訪問介護、同行援護の実績については、令和2年度の実績値と比較し利用者数は同数、令和3年度の見込み量を下回っているものの1人当たりの月平均時間は増加しています。

2 短期入所

(単位：上段は人、下段は人日)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	45	34	76%	48	-	-	52	-	-
	225	178	79%	240	-	-	257	-	-
知的障害者	146	98	67%	150	-	-	153	-	-
	685	479	70%	701	-	-	717	-	-
精神障害者	6	6	100%	6	-	-	7	-	-
	20	25	125%	22	-	-	24	-	-
障害児	43	29	67%	44	-	-	44	-	-
	178	112	63%	182	-	-	185	-	-

\*数値、上段は月間の平均利用人員、下段は「月間の平均利用人員」×「1人当たりの月平均利用日数」

【評価】

短期入所について、本人の訓練的観点や家族のレスパイト的観点から利用していた知的障害者や障害児の利用控えなどの要因による実績の減少が見受けられます。一方で、身体障害者、精神障害者については、令和2年度の実績と比較して、月間の平均利用人員、1人当たりの月平均利用日数は同水準または増加傾向となっています。今後、新型コロナウイルス感染症の状況によって、サービスの利用状況の変動が予想されます。



3 日中活動系サービス

(単位：上段は人、下段は人日)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	生活介護	133	131	98%	137	-	-	140	-	-
		2,305	2,270	98%	2,363	-	-	2,422	-	-
	自立訓練 (機能訓練)	4	4	100%	4	-	-	5	-	-
		55	47	85%	57	-	-	60	-	-
	就労移行支援	10	6	60%	10	-	-	10	-	-
		162	114	70%	170	-	-	178	-	-
	就労継続支 援(A型)	27	28	104%	29	-	-	30	-	-
463		525	113%	477	-	-	491	-	-	
就労継続支 援(B型)	52	61	117%	54	-	-	55	-	-	
	813	977	120%	836	-	-	859	-	-	
就労定着支援	4	4	100%	4	-	-	5	-	-	
知的障害者	生活介護	442	415	94%	448	-	-	455	-	-
		7,843	8,012	102%	7,961	-	-	8,080	-	-
	自立訓練 (生活訓練)	16	12	75%	17	-	-	17	-	-
		243	205	84%	255	-	-	267	-	-
	就労移行支援	21	23	110%	22	-	-	23	-	-
		353	376	107%	367	-	-	381	-	-
	就労継続支 援(A型)	42	45	107%	44	-	-	46	-	-
762		864	113%	800	-	-	840	-	-	
就労継続支 援(B型)	265	265	100%	276	-	-	287	-	-	
	4,710	4,756	101%	4,876	-	-	5,047	-	-	
就労定着支援	13	11	85%	13	-	-	14	-	-	
精神障害者	生活介護	37	39	105%	39	-	-	41	-	-
		416	484	116%	437	-	-	458	-	-
	自立訓練 (生活訓練)	10	5	50%	10	-	-	10	-	-
		118	53	45%	124	-	-	130	-	-
	就労移行支援	71	80	113%	75	-	-	79	-	-
		1,221	1,322	108%	1,282	-	-	1,346	-	-
	就労継続支 援(A型)	78	90	115%	82	-	-	86	-	-
1,359		1,556	114%	1,427	-	-	1,498	-	-	
就労継続支 援(B型)	134	144	107%	141	-	-	148	-	-	
	1,683	1,965	117%	1,767	-	-	1,856	-	-	
就労定着支援	35	37	106%	36	-	-	38	-	-	
療養介護		20	22	110%	20	-	-	21	-	-

\*数値、上段は月間の平均利用人員、下段は「月間の平均利用人員」×「1人当たりの月平均利用日数」



【評価】

各サービス、概ね見込量を上回る実績となっています。その中でも、就労移行支援、就労継続支援A型については、以前より大幅に増加しており、令和3年度実績についても令和2年度実績、令和3年度見込みと比較しても増加となっています。就労移行支援については、精神障害者の割合が73%、就労継続支援A型については55%といずれも最も高い割合を占めています。

4 居住系サービス

(単位：人)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	自立生活援助	0	0	-	0	-	-	0	-	-
	共同生活援助 (グループホーム)	10	13	130%	10	-	-	10	-	-
	施設入所支援	32	31	97%	31	-	-	31	-	-
知的障害者	自立生活援助	3	0	0%	4	-	-	5	-	-
	共同生活援助 (グループホーム)	233	244	105%	245	-	-	257	-	-
	施設入所支援	93	96	103%	92	-	-	91	-	-
精神障害者	自立生活援助	0	0	-	0	-	-	0	-	-
	共同生活援助 (グループホーム)	47	55	117%	50	-	-	52	-	-
	施設入所支援	3	2	67%	3	-	-	3	-	-

\*数値は月間の平均利用人員

【評価】

施設入所支援の平均利用人員は同水準、共同生活援助の平均利用人員は増加傾向にあります。グループホームの整備にあたっては、計画相談支援の充実や地域生活支援拠点の機能整備によって、「どこで暮らしたいか」という希望を反映できるとともに、重度の障害のある方の選択肢となれるよう検討を進めていく必要があります。なお、居宅での生活を支える自立生活援助については、制度当初より利用実績がない状況であり活用ができるよう検討する必要があります。

5 相談支援（計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援）

（単位：人）

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	計画相談支援	160	166	104%	168	-	-	176	-	-
	地域移行支援	2	0	0%	2	-	-	3	-	-
	地域定着支援	0	0	-	0	-	-	0	-	-
知的障害者	計画相談支援	332	389	117%	348	-	-	366	-	-
	地域移行支援	2	0	0%	2	-	-	3	-	-
	地域定着支援	1	0	0%	1	-	-	1	-	-
精神障害者	計画相談支援	200	214	107%	210	-	-	220	-	-
	地域移行支援	1	1	100%	1	-	-	1	-	-
	地域定着支援	2	0	0%	3	-	-	5	-	-
障害児	計画相談支援	2	0	0%	2	-	-	2	-	-

\*計画相談支援は実利用人数

\*地域移行支援、地域定着支援は年間の利用人員

【評価】

計画相談の利用人数は、令和2年度の実績と比較して令和3年度の実績は増加となっており、また、令和3年度の見込量を上回っている状況です。しかし、令和4年3月31日現在の支給決定障害者の計画相談利用率は37.6%にとどまっております。個別の障害者ケアマネジメントを必要とされる方が相談支援専門員の不足により必要な支援が受けられていない現状があります。そのため、計画相談支援については、令和3年度から相談支援事業所開設等補助を実施し計画相談支援の普及に向け利用人数の増加を目指しています。

地域移行支援については、令和3年度に精神障害者について1件実績があったことにより見込量と同水準となっておりますが、その他については地域定着支援含め見込量を下回る結果となっております。施設入所者、精神科病院に入院している方及び支援者に対する制度の周知・利用を強化する必要があります。

〔2〕精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の見込みと確保の方策の見込量と実績

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数	回/年	6	7	117%	6	-	-	6	-	-
保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係者の参加者数	人/年	36	68	189%	36	-	-	36	-	-
保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定及び評価の実施回数	回/年	6	7	117%	6	-	-	6	-	-

【評価】

障害者地域自立支援協議会の地域移行・地域定着部会を協議の場として位置付け、保健、医療、福祉の関係者による定期的な協議を実施しており、各項目の見込量を上回っています。

引き続き、関係機関と連携を行いながら、精神障害者の地域移行などを進める取組を行っていきます。

〔3〕相談支援体制の充実・強化のための見込みと確保の方策の見込量と実績

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
基幹相談支援センターの設置	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-
地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言	件/年	16	19	119%	16	-	-	16	-	-
地域の相談支援事業者の人材育成の支援	件/年	2	1	50%	2	-	-	2	-	-
地域の相談機関との連携強化の取組	回/年	2	0	0%	6	-	-	10	-	-

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響で相談支援事業所を対象とした研修実施は1回となり、地域の相談支援事業者の人材育成の支援は見込量を下回りました。

また、地域の相談機関との連携強化の取組については、見込量として予定していた圏域内のエリア全体における会議（年2回）が新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催できませんでした。エリア毎による会議等を定期的実施（年64回）し、地域の専門相談支援機関等との連携を図りました。

引き続き、相談支援体制の充実・強化のための取組を行っていきます。

〔4〕障害福祉サービスの質を向上させるための取組に係る見込みと確保の方策の見込量と実績

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害福祉サービス等に 係る各種研修の活用	人/年	64	52	81%	64	-	-	64	-	-
障害者自立支援審査 支払等システムによる 審査結果の共有	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-
	回/年	12	12	100%	12	-	-	12	-	-
障害福祉サービス事業所等 に対する指導 監査の結果の共有	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-
	回/年	1	1	100%	1	-	-	1	-	-

【評価】

●大阪府が実施する「市町村障がい福祉担当新任職員研修」を始め、様々な研修に参加し、職員の障害福祉サービス等に関する知識や技術等の向上に努めました。また、各事業所においても、職員の支援技術等の向上に取り組めるよう、大阪府等が実施する研修の情報提供等を行いました。引き続き、障害福祉サービスの質向上に向け、取り組んでいきます。

●障害福祉サービス等に係る審査支払について、毎月の請求データの確認時に事業所等に対し、エラー項目に関して共有を行うとともに修正を促しました。今後も、引き続き適切に請求がなされるよう取り組んでいく必要があります。

●指導監査に係る情報の共有体制の構築については、昨年度北摂七市三町障害福祉担当課長会議（書面開催）で各市における事業所に対する処分取り消し等の事例共有を行いました。

## 〔5〕 地域生活支援事業

### 1 理解促進研修・啓発事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
理解促進研修・啓発事業	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-

#### 【評価】

障害者地域自立支援協議会開催の研修会や障害者週間関連事業として毎年開催している「障害者の手づくり作品展示会」等のイベントなどを通じて、市民等の障害理解を深める研修や啓発を推進しています。引き続き、より市民等に行き渡る啓発手法の検討を行っていきます。

### 2 自発的活動支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
自発的活動支援事業	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-

#### 【評価】

「ピアカウンセラー養成講座」の開催や障害者地域自立支援協議会当事者部会の運営、障害当事者交流会の開催など、市民等が行う自発的な活動に対する支援を実施しています。

### 3 相談支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害者相談支援事業	か所	10	10	100%	10	-	-	14	-	-
基幹相談支援センター	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-
基幹相談支援センター等機能強化事業	有無	有	有	100%	有	-	-	有	-	-

#### 【評価】

障害者相談支援事業については、令和元年度から市内5つの圏域を細分化した14エリアに委託相談支援センターを整備してきました。新たに設置された相談支援センターの周知が進んできたことにより、地域住民の身近な相談場所として活動しています。

基幹相談支援センター等機能強化事業については、市が直接設置し、複数の専門職を配置して、相談支援機能の強化を図っています。

本市域の相談支援専門員の多くが市町村相談支援事業や自立支援協議会等の地域づくりの活動に従事する一方、計画相談支援の利用者数が少ないこと、市町村相談支援事業の多くがサービス利用を主訴とした障害者が利用することから、本市域の人的資源の配分について検討が必要です。

#### 4 成年後見制度利用支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
成年後見制度利用支援事業	人	12	13	108%	13	-	-	15	-	-

\*数値は年間の利用人数

##### 【評価】

制度内容の理解や事業の浸透に伴い、見込量を上回る利用となっています。

#### 5 意思疎通支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
手話通訳者派遣事業	件	2,503	2,254	90%	2,648	-	-	2,801	-	-
	時間	2,657	2,448	92%	2,793	-	-	2,937	-	-
要約筆記者派遣事業	件	30	14	47%	33	-	-	37	-	-
	時間	82	129	157%	86	-	-	91	-	-
手話通訳者設置事業	人	5	5	100%	5	-	-	5	-	-

\*数値は年間量

##### 【評価】

手話通訳者派遣事業については、おおむね見込量どおりの推移となっています。なお、コロナ禍の影響として、映像配信を伴う手話通訳者派遣依頼が増えています。

要約筆記者派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼件数は少なかったものの全体投影の派遣依頼が多かったため、時間数については増加しました。

今後も合理的配慮の推進に伴う利用の拡大に向け、手話通訳に従事する人材の確保・養成の推進が求められます。

## 6 日常生活用具給付等事業

(単位：件)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
介護・訓練支援用具	23	28	122%	24	-	-	26	-	-
自立生活支援用具	43	68	158%	44	-	-	44	-	-
在宅療養等支援用具	61	70	115%	64	-	-	67	-	-
情報・意思疎通支援用具	41	48	117%	42	-	-	42	-	-
排せつ管理支援用具	4,921	7,893	160%	4,970	-	-	5,020	-	-
住宅改修費	3	8	267%	3	-	-	3	-	-

\*数値は年間量

\*排せつ管理支援用具（ストーマ装具、紙おむつ等）については、給付月の件数

### 【評価】

全ての項目において、実績値が見込量を上回っており、今後の実績値の推移を注視する必要があります。引き続き障害者福祉のてびき等を活用し、制度周知を図り、用具等の給付が必要な方に対して、適切に支給できるように努めていきます。

## 7 手話奉仕員養成研修事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
手話奉仕員養成研修事業	人	60	46	77%	60	-	-	60	-	-

\*数値は年間の養成研修修了者数

### 【評価】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染状況に合わせて、対面とZoomを利用したりリモートとに分けて講座を開催しました。

手話通訳者や手話奉仕員は、意思疎通を図る上で大切な役割を果たしていますが、手話通訳者や手話奉仕員を養成するためには、長い期間が必要になるため、今後を見据えて、研修事業の参加者の増加を図る必要があります。



## 8 移動支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	人	116	70	60%	117	-	-	119	-	-
	時間	19,544	14,705	75%	19,739	-	-	19,936	-	-
知的障害者	人	427	225	53%	434	-	-	441	-	-
	時間	70,073	42,255	60%	71,194	-	-	72,333	-	-
精神障害者	人	90	63	70%	95	-	-	100	-	-
	時間	10,743	11,920	111%	11,280	-	-	11,844	-	-
障害児	人	97	34	35%	98	-	-	100	-	-
	時間	6,147	4,119	67%	6,219	-	-	6,293	-	-

\*上段は月当たりの平均利用者数 下段は年間延べ利用時間数

### 【評価】

特に精神障害者の利用者実績の増加が顕著であり、見込量を大きく上回り推移していましたが、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会そのものが減少したことで、サービス利用実績も減少しています。

精神障害者の外出や社会参加への支援ニーズの高まりがうかがえ、精神障害者への支援スキルを持ったガイドヘルパーの養成を進めるとともに、社会全体の障害理解の高まりが必要です。また、65歳を超え、介護保険を利用する障害者においても、制度の利用が進んでいます。

## 9 地域活動支援センター

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
利用人数	人	237	190	80%	240	-	-	242	-	-
I型	か所	1	1	100%	1	-	-	1	-	-
II型	か所	1	1	100%	1	-	-	1	-	-
III型	か所	2	2	100%	2	-	-	2	-	-

\*数値は年間量

### 【評価】

地域活動支援センターI型、II型、III型は見込量どおりの設置となっています。III型については、令和3年度より基本報酬と加算を拡充することにより、事業を継続するとともに、インセンティブを働かせ利用者の増やサービスの質の向上を目指していますが、令和3年度利用実績については、令和2年度実績とほぼ同水準で推移している状況です。地域活動支援センターは、障害者が地域で生活するための大切な居場所のひとつであり、引き続き他の制度やサービスと合わせて体制の整備を図っていきます。

## 10 その他の事業（任意事業）

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
訪問入浴サービス事業	人	60	65	108%	61	-	-	62	-	-
日中一時支援事業	人	1,554	1,289	83%	1,570	-	-	1,586	-	-
	人日	1,712	1,464	86%	1,729	-	-	1,746	-	-

\*数値は年間量

### 【評価】

訪問入浴サービス事業は、利用者の増加に伴い、見込量を上回っています。

日中一時支援事業は、近年見込量を上回る実績で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から実績値が減少している状況です。日中一時支援事業は、日中の居場所としての重要な役割を果たしています。

また、日中就労している主たる介護者が増えていること、障害児であったときに児童デイサービスを利用して夕刻から夜間までの介護ニーズが満たされていたことを背景として、日中活動系サービスの終了後夕刻の利用を希望する利用者が増加しています。

## 障害児福祉計画（第2期）の取組状況等について

### 【1】成果目標

#### 〔1〕児童発達支援センター

（単位：か所）

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
福祉型児童発達支援センター	1	1	100%	1	-	-	1	-	-
医療型児童発達支援センター	1	1	100%	1	-	-	1	-	-

#### 【評価】

福祉型児童発達支援センターとして「あけぼの学園」、医療型児童発達支援センターとして「藍野療育園」がそれぞれ設置されており、市内における障害児支援の拠点として活用されています。これらの児童発達支援センターの機能の充実を引き続き進める必要があります。

#### 〔2〕保育所等訪問支援

（単位：か所）

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
保育所等訪問支援事業所数	3	3	100%	4	-	-	5	-	-

#### 【評価】

実施できる事業所は市内に3か所あり、計画における目標は達成されています。今後もニーズの動向に注視しながら、受け入れ側となる保育所、幼稚園、学校への周知を進めていきます。

#### 〔3〕医療的ニーズへの対応

（単位：か所）

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所数（医療型児童発達支援センターを含む）	4	4	100%	4	-	-	5	-	-
主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所数	4	4	100%	4	-	-	5	-	-

#### 【評価】

児童発達支援、放課後等デイサービスとも、受入体制の確保はできていると考えています。計画上の目標は達成されていますが、ニーズの多様化もあり、今後も提供体制の維持・充実に努める必要があります。

〔4〕 医療的ケア児支援のための保健・医療・福祉・保育・教育等関係機関の協議の場の設置

(単位：か所)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
関係機関の協議の場	1	1	100%	1	-	-	1	-	-

〔5〕 コーディネーターの配置

(単位：人)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
コーディネーターの配置	1	1	100%	2	-	-	2	-	-

【評価】

協議の場に位置付けている障害者地域自立支援協議会の子ども支援プロジェクトチームでは、医療的ケアが必要な子どものさまざまな場面での状況を知るため、医療的ケア児等コーディネーターが加わり、意見交換や活用できる社会資源の共有等を実施しました。また、関係機関との情報交換の場も設けました。

## 【2】活動指標

### 〔1〕障害児通所支援

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
児童発達支援	人	500	523	105%	500	-	-	500	-	-
	人日	2,500	2,615	105%	2,500	-	-	2,500	-	-
医療型児童発達支援	人	90	63	70%	90	-	-	90	-	-
	人日	630	315	50%	630	-	-	630	-	-
放課後等デイサービス	人	1,280	1,326	104%	1,330	-	-	1,380	-	-
	人日	9,250	6,630	72%	10,200	-	-	11,200	-	-
保育所等訪問支援	人	32	18	56%	40	-	-	48	-	-
	回	26	18	69%	28	-	-	30	-	-
居宅訪問型児童発達支援	人	5	3	60%	5	-	-	5	-	-
	回	5	7	140%	5	-	-	5	-	-

\*数値、上段は1か月当たりの利用人員、下段は「月間の利用人員」×「1人当たりの月平均利用日数」

\*「回」は、「月間の利用人員」×「1人当たりの月平均利用回数」

#### 【評価】

新型コロナウイルス感染症予防の行動もあり、医療型児童発達支援とや保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援については、利用者数の顕著な伸びは見られませんでした。

### 〔2〕障害児相談支援

(単位：人)

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害児相談支援		118	96	81%	138	-	-	158	-	-

\*障害児相談支援は1か月当たりの利用人員（モニタリング含む）

#### 【評価】

実績値は増加していますが、誰もが利用できる状況には至っていません。相談支援専門員の確保と育成を図り、提供体制の拡充に努める必要があります。

〔3〕発達障害児等に対する支援

○ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数

(単位：人/年)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数	12	8	67%	18	-	-	24	-	-

【評価】

コロナ禍の影響もあり、年間2回の予定を1回に変更したため実績値としては少なくなりましたが、1回の定員を予定よりも増やして実施し、提供体制の充実を図りました。

○ピアサポート活動への参加人数

(単位：人/年)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
ピアサポート活動への参加人数	2	2	100%	3	-	-	4	-	-

【評価】

参加者からは具体的でわかりやすく、参加して良かったという意見が9割以上を占めました。今後も継続して実施していきます。

〔4〕地域生活支援事業（障害児通学支援）

(単位：上段は人、下段は時間)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害児通学支援	10	15	150%	11	-	-	12	-	-
	600	851	142%	660	-	-	720	-	-

\*上段は月当たりの平均利用者数 下段は年間延べ利用時間数

【評価】

事業の認知が広がったことで実績値は計画における見込量を上回っています。今後もニーズの動向に注視し、提供体制の維持・充実に努める必要があります。